



写真 1 国指定史跡「長州藩下関前田台場跡」全景（西より）

前田台場は、幕末の下関での攘夷戦争において、長州藩が下関海峡沿いに築造した台場の一つである。文久3年(1863)の攘夷に備えて築造された「低台場」と元治元年(1864)の四国連合艦隊による下関砲撃前に増築された「高台場」の二つから構成されている。

指定名称：長州藩下関前田台場跡

指定地：下関市前田一丁目 148 番 1 ほか

史跡長州藩下関前田台場跡は、イギリス陸戦隊を主力とする上陸部隊によって占拠され、占領当時イギリス軍が作成した台場の実測図や古写真が残されている。

過去に実施された発掘調査では、地中にめり込んだ状態で砲弾が出土するなど、攘夷戦の具体的な様相を示す成果が得られた。当該地は、長州藩が攘夷から開国へと方針を転換する起点となった事件に関係する、重要な遺跡として評価され国史跡として指定された。

写真 2 史跡長州藩下関前田台場跡の位置







観音堂古墳 現地説明会

日時：平成 21 年 6 月 7 日（日）

参加人数：110 名

有富・延行線道路改良工事に伴う発掘調査で観音堂古墳を発掘した。鉄刀や玉類などの副葬品と古墳の石室を一般に公開し、説明を行った。

写真 3

観音堂古墳 現地説明会風景



要須遺跡 現地説明会

日時：平成 22 年 6 月 12 日（土）

参加人数：70 名

川中土地区画整理事業の施工に伴い調査を行っており、平成 22 年度は古墳時代の竪穴住居跡、中世の底を持つ掘立柱建物を検出し、出土遺物と共に一般に公開した。

写真 4

要須遺跡 現地説明会風景



和久 1 号古墳 現地説明会

日時：平成 22 年 9 月 11 日（土）

参加人数：40 名

下関市豊北町の豊北地区集客施設（道の駅）建設に伴い、整備を目的とした発掘調査を実施した。

横穴式石室内から完形の須恵器、滑石製白玉等の装身具、馬具や刀等、多数の副葬品が出土し、豊北町域海岸部の首長墓の様相を一般に公開した。

写真 5

和久 1 号古墳 現地説明会風景

## 序 文

下関市教育委員会では、平成 23 年度から教育振興基本計画において「生涯を通じて学ぶ機会を提供します」を基本目標の一つとして掲げ、文化財保護課では、その基本方針「学術文化活動の推進」と「文化財保護活動の推進」に日々取り組んでおります。

文化財保護課は、そうした活動の記録として平成 19 年度から下関市埋蔵文化財年報を随時刊行し、今年度は、平成 21 年度、平成 22 年度に実施した埋蔵文化財保護に関する業務について報告しております。平成 21 年度は 88 件、平成 22 年度は 100 件の開発や土木工事における協議・調整から発掘作業、資料整理、報告書作成などを実施しました。

また平成 22 年度には、下関市前田一丁目所在の前田砲台跡が「長州藩下関前田台場跡」という名称で国史跡として指定され、本市に 8 件目の国指定史跡が加わりました。

今後も史跡の保存整備、調査成果の公開や情報発信等の愛護・普及活動により一層努めてまいり所存です。本書を通じて、埋蔵文化財に対する市民の皆様のご理解とご支援を賜ることができるよう期待しております。

平成 23 年 8 月

下関市教育委員会

教育長 波佐間 清

## 目 次

平成 22 年度指定 国指定史跡「長州藩下関前田台場跡」	巻頭図版	1
平成 21 年度・平成 22 年度実施の埋蔵文化財愛護普及活動	巻頭図版	2
平成 21 年度・平成 22 年度における埋蔵文化財保護に関わる概要		1
( 1 ) 埋蔵文化財保護調整		1
( 2 ) 埋蔵文化財分布調査		1
( 3 ) 埋蔵文化財発掘調査		1
( 4 ) 資料整理・報告書作成		1
( 5 ) 愛護普及活動		1
( 6 ) 史跡の整備・管理		3
平成 21 年度・平成 22 年度実施の主要調査概要		9
1 観音堂古墳		9
2 要須遺跡		11
3 長門国府跡(印内地区)		15
4 下有富遺跡(植松地区)		16
5 塚の原遺跡		17
6 梶栗浜遺跡		18
7 綾羅木郷台地遺跡(中屋敷・庄屋敷地区)		19
8 内日遺跡		22
9 住吉神社遺跡		25
10 長門鑄銭所跡		29
11 長門国府跡(亀の甲地区)		35
12 和久 1 号古墳		37
13 功山寺旧境内地(功山寺遺跡)		41
14 長門国府跡(宮の内地区)		43
15 木下遺跡近接地・末光遺跡		46
16 武久川下流域条里遺跡近接地		49
17 火山城跡(火ノ山砲台跡)		51
18 梶栗浜遺跡自然科学調査		52
その他の遺跡概要(過年度調査の概要)		59
下有富遺跡(殿屋敷地区)		59